

# 指定管理者による自己評価

## 目的

自己評価は職員自らがサービスの内容や提供体制について見つめ直し、改善点を発見することを目的としています。

## 実施方法

横浜市指定の自己評価表に基づいて、みなさんの日頃の業務を見直してみてください。その際には一部の職員のみで行うのではなく、職員協議の上取りまとめる等、施設全体として取り組んでください。

## 記入例

### I-1 施設の目的や基本方針の確立

〇〇〇の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。

〇〇〇：地区センター・スポーツセンター・老人福祉センター・福祉保健活動拠点・地域ケアプラザ・こどもログハウス

判断基準	指定管理者記入欄		第三者評価機関記入欄	
	チェック欄	評価(A・B・C)	チェック欄	評価(A・B・C)
A 次のすべてに該当する。 〇〇〇の設置目的に基づいた施設運営上の基本方針が明文化されている。 職員が、〇〇〇の設置目的や施設運営上の基本方針を理解している。 利用者に対し、〇〇〇の設置目的や施設運営上の基本方針を周知している。	レ			
B Aの中でいずれか1つは該当する。				
C A、Bのいずれにも該当しない。				
指定管理者記入欄		第三者評価機関記入欄		
【アピールポイント】				
【改善すべき点・課題等】				

① 該当する判断基準にチェックを入れてください。  
(非該当項目は無記入)

B

② 判断基準の該当数によりA・B・Cのいずれかを記入してください。

③ 独自の取組等を記入してください。

④ すでに把握している改善すべき点や、やむを得ず達成できない場合の理由等を記入してください。

## 記入方法

- ① 各項目の「できている」ところにチェックをつけてください。
- ② 評価項目ごとに判定基準に従ってABCを記入します。
- ③ 判定基準には挙げられていないが、各評価項目の目的を達成するための独自の工夫事例がある場合は【アピールポイント】欄に記入します。
- ④ すでに把握している改善すべき点や、やむを得ず達成できない場合の理由等を記入してください。  
指定管理者の責任ではなく、市や区の責任等によりCとなる場合にも、その理由を【改善すべき点・課題等】に記入します。